



「しつけ」において大切なこととは！ 必読！

家庭訪問が5月29日から6月6日の間で行われます。本校では、子どもの学校生活だけでなく、家庭や地域の中での生活の様子を知ることと、保護者と担任との信頼関係を確立するために実施するものです。ご協力をお願いします。

さて、家庭訪問で話題になることのひとつとして「しつけ」があります。この「しつけ」で大切なことを4点述べたいと思います。

まず一つ目は、「子どもを大切に思う気持ちを、親は常に子どもに発信し続けることが最も大事だ。」ということです。

昔と比べて働いているお母さんもたくさんいます。子どもと接する時間も当然少なくなってきました。しかし、多くの時間を子どもたちと共有しなくても、「子どもの表情に気付いて接する。」それが親として大切なことではないでしょうか。例えば、親がスマートフォンを見ている時間が多いと、子どもは自分に気付いてほしいのに（赤ちゃんだったら泣くでしょう）、それにすぐ反応してくれない。そのようなことが子どもの心理をつくるうえで、大変悪い影響を与えているということが医学的にも言われています。



二つ目は、「自分で問題に立ち向かい、解決していこうとする子どもを育てる。」ということです。

子どもに何か問題があると、心配のあまり親がすぐに前に出ていってしまうことはないでしょうか。口を出したいところをまずは我慢し、子どもなりの考えや判断を待ってみてください。そうすれば、子どもも相手や自分の言動についてよく考え、時には自分の悪かったところまで気付くかもしれません。子どもが大切なばかりに、子どもの成長の場を気付かぬうちに親がなくなってしまうことは避けたいものです。

三つ目は、「あいさつの『おはようございます』、感謝の『ありがとうございます』、謝罪の『すみませんでした』など、親の姿を子どもに手本として示すことが大切だ。」ということです。

親の周りへの配慮というものを日常生活の中から子どもに見せることで、そういった態度が自然と子どもたちの中にも育ちます。自分が子どもの見本となる姿勢を見せることも大事ではないかと思えます。

四つ目は、『ダメなものはダメ』とか『よそがどうかは別として、うちはダメ』という大人の信念が大事だ。」ということです。

この思いは一貫してブレないようにしなければなりません。そして、子どもがどんな恨み言を言っても、すねてしまっても、あるいは泣いたりしても、必要なら必ず言わなければなりません。家庭でも学校でもそうしなければならない時が必ずあります。これらを通して、子どもは「自分の思い通りばかりにはいかない。我慢しなくちゃいけない時もある。」ということを知るのです。子どもが反発するから面倒だと逃げてしまう親が多くなってきたような気がします。

我が家のカレンダーに「子どもを育てる苦勞によって、親も人としての成長を遂げていく。」と書かれています。子どもを「しつける」ことで、親も教師もまた、人として成長できるのですね。

須二小運動会！「出しきろう 一人一人の持つ力」

20日(土)1週間遅れとなりましたが、多くの来賓の方々や保護者・地域の方々にお越しいただき、盛大に1日開催の運動会を実施することができました。

今年の運動会のスローガン「出しきろう 一人一人の持つ力」(4年木船ひかるさん作)の通り、仲間とともに精一杯力を出し切りゴールを目指して走る子どもたちの姿が印象的でした。また、審判・放送・準備・救護などの各係の5・6年生の子どもたちも、担当教師の指示を聞きながらきびきびと仕事をしていました。とりわけ小学校最後となる6年生の活躍ぶりは、素晴らしかったです。その姿は下級生の良き手本となっており、須二小の底力の源は6学年にあることを実感しました。このような運動会が実施できたのは、子どもたちの頑張りはもちろんですが、温かな拍手と声援をおくってくださった来賓の皆様、地域・保護者の皆様、校庭への散水等含め献身的にお手伝いをしてくださったPTAの役員、厚生給食委員会の皆様等々、たくさんのご協力があったからです。心から感謝申し上げます。 ※当日の様子はホームページで詳しく掲載してあります。ご覧ください。



5・6年 須二小ダービー



3・4年 よさこいソーラン



1・2年 ダンス「フラッシュ」

運動会でがんばったこと 6年 紛澤京奈

私は、運動会でがんばったことがあります。それは、いくら負けていても最後まであきらめなかったことです。演技中も応えん中もみんなで声を張り上げていました。

もう一つは、6年生ということです。係活動は、もちろんその他のことも自覚をもってやれたと思いました。最後の運動会で、負けたのはすごくくやしかったけれど、チャンス走や鼓笛などを今までとちがう形でできたのは思い出になりました。来年は、こうはいたちの運動会を見に行きたいです。

5・6年生131名交通安全鼓笛パレード 堂々の演奏・行進

24日(水)本校の校庭で須賀川市内の小学校16校1285名が一堂に会し「平成29年度第46回交通安全鼓笛パレード」の開会式が行われました。その後、上北町集会所から大町交差点までの1220mの区間、須二小を先頭に各校の鼓笛演奏が行われました。皆様方の温かい声援と大きな拍手ありがとうございました。 ※当日の様子はホームページで詳しく掲載してあります。ご覧ください。

最後の鼓笛パレード 6年 五十嵐桃佳

最後の鼓笛演奏が始まる前、私はとてもきん張っていました。主指揮を持つのが初めてで、さらにたくさんの人が見ているため、堂々と指揮できるのか不安でした。でもこれは、交通安全鼓笛パレード。たくさんの人が見ている分、事故が減ると思うと、不安やきん張はどこかに飛んでいきました。

そして、本番。道路の真ん中で堂々と指揮をし、二小鼓笛隊として今までで一番いい演奏をすることができました。私にとって最高の宝物になりました。

